

## 第17回まちづくり市民会議議事録

- 日時 平成22年8月19日（木） 午後6時30分～8時30分  
■場所 太田市役所10階 政策推進会議室  
■出席者 西村会長、福田副会長、秋山委員、青木委員、窪田委員、新藤委員、高倉委員、棚澤委員、塚田委員、徳永委員  
前原係長代理、小川主任

（委員10名、市2名）

### 【概要】

#### 1. 提言書の検討

◆徳永委員作成、「イベント、市民参加、メディア」についての提言書サンプルについて検討した。

- ・第9回、10回会議の意見をまとめたものであり、幅広く数多い意見があった。
- ・提言書を作成してみたが、文字が多く説得力がない。データに基づくグラフや、市民に対するアンケートなどを挿入すれば説得力のあるものになる。
- ・太田市を舞台とした映画の制作や、まちや歴史を感じることができるような企画を提言したい。
- ・日本一の道の駅となるような提言をしたい。  
（以上、作成者の主な意見）
- ・提言に具体性がない。また、現行のイベントに対する要望がない。提言書自体、もう一工夫するべき。
- ・イベントのテーマの中で、尾島ねぶたまつりやイルミネーションについて取り上げるべき。
- ・1頁、「②お祭りは本来、地域住民が考えて始めたものである」は、そのとおりであり、さらに行政等が手助けをし、より良いものにしていくべきではないか。
- ・1頁、「④北部運動公園の芝桜は、単独で観光客を集めるのには限界がある」は、お客の満足度を考えていないことを表している。
- ・6頁、「提言①コンテンツツーリズム（映画ロケーション）、④次世代型観光都市をアピールする、⑧車好きな人を集める「スバル博物館」、⑫郷土愛をみんなでもとう！郷土食、地域で愛され続けてきた料理 大和芋チップス 太田産地粉でつくる焼きそば、⑬自然しらべ（湧き水・金山）」は大変良い。

◆西村会長作成の提言書案について検討した。

- ・「観光産業の確立」という文言がほしい。
- ・本市における観光の重要性の記載がない。
- ・4頁中段、「・・・財政状況も比較的良好の為、今まで観光振興には熱心に取り組んできました。」は「・・・財政状況も順調に推移していた為、今までの観光振興はおざなりな感があります。」などのプラス表現としたほうが良い。

- ・4頁中段、「…など現在の観光資源でも魅力ある展開が可能であり、」とあるが、本当にそうであろうか。この点が観光振興の一番のポイントである。魅力があれば既に人は来ているはずである。
- ・5頁【提言】について、子どもが遊べる河川や「歩け歩け」と連動させるなど、もっと「水」にこだわってほしい。
- ・5頁【提言】①中、「金山のハイキングコースを整備し、…」は「金山のハイキングコースを活用（有効利用）し、…」といった表現のほうが良い。
- ・富士重工業の電気自動車を環境テーマの中で取り上げ、提言に結び付けてはどうか。

◆その他の意見

- ・尾島ねふたまつりには多くの観光客が来ているし、本市行政に対する他県からの行政視察も非常に多いようであるが、宿泊するところがないなど、観光をさせるシステムが出来ていないため観光をしないで帰ってしまう。
- ・B級の観光資源をA級にするためには、「おもてなし」という要素が必要である。1%まちづくり交付金を、観光振興のための「おもてなし」に活用できるようにするよう提言をしてはどうか。
- ・おおた夏まつりはパンフレットも案内もない。太田市の祭りではなく地区の祭りになっており、観光資源にはなり得ない。
- ・御城道をモデルケースとして提言を考える。
- ・市の中心地、しかも表通りが風俗街であることは普通考えられない。この状況は、行政、警察、地域住民が本気でやる気になれば改善されるはずである。

2. 分科会について

- ・テーマごとに分科会を設けることとする。
- ・分科会の開催に先立ち、各テーマのリーダー会議を開催する。
- ・開催日程は次のとおりとする。

| 日 時             | 場 所     | テーマ                  |
|-----------------|---------|----------------------|
| 8月25日（水）18時30分～ | 政策推進会議室 | リーダー会議               |
| 9月2日（木）18時30分～  | 政策推進会議室 | 産業（商業、工業、農業、お土産、食文化） |
| 9月9日（木）18時30分～  | 政策推進会議室 | 歴史（産業遺産、文化遺産）        |
| 9月16日（木）18時30分～ | 政策推進会議室 | イベント、市民参加、メディア、      |
| 9月24日（金）18時30分～ | 政策推進会議室 | 環境（緑、水、エネルギー）        |

- ・必要があれば10月も分科会を行う。